



白 門 板 橋

2000. 8. 22 VOL.14

編集 中央大学学員会 東京板橋区支部
発行 〒175-0082 板橋区高島平2-23-3-101 TEL 03-3550-3300



■「通常総会」を終えて 更なる支部の発展めざして

支部長 小日向 孝介



異常な猛暑が続いておりますが、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて当支部では、去る六月二十四日に大学から三宅常任理事、学員会から長田副会長をお招きし、平成十二年度総会を盛会裡に実施することができました。特に本部のご配慮により、元オーストリア大使・黒川教授の「外交と音楽」と題する豊富な内容と格調高い講演は、聴衆を魅了し、まさに錦上添花を添えるものでした。

ここで支部の近況と今後の活動方針にふれてみたいと思います。先ず、長い間の懸案事項でありました「幹事長制度」を導入し、本年度から実施することになりました。また任期満了に伴う役員改選につきましては、経験豊富なベテランから実践力に富む中堅層にいたるまで、幅広い卒年次から参加をお願いし、二十一世紀に向っての業務の円滑な運営を図って参りたいと思います。

会員募集では、関係者の努力で多数の新規加入をいただきました。既会員と共に支部の諸活動に積極的な参加を期待しております。

ブロック制度も定着し、支部行事の一部を担当ブロックに委託して実施して来ましたが、今後はさらにこの方法を拡充発展させていきたいと考えます。(〳〵中略) また引き続き他支部や都区内各支部と連絡を密にし、情報の交換をはじめ趣味やスポーツの面で友好関係を維持し、協調の輪を広げて参る所存です。

支部が発足して十二年目を迎え、概ね基礎造りを終えたところで、二十一世紀はこの基礎の上にたち、更に支部運営の発展強化を図って参りたいと思います。

会員各位の更なるご指導ご協力をお願い申し上げます。

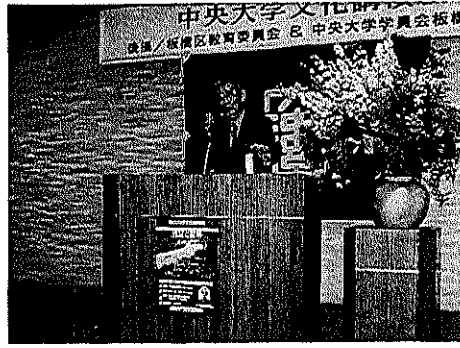
■支部ニュース

初の文化講演会 盛況に終わる

平成十二年度の定時総会に先立ち、初の試みで「中央大学文化講演会」が去る六月二十四日(土)午後二時から、区立文化会館の大会議室で開かれました。

講演は、母校・中央大学の主催で、後援は板橋区教育委員会と学員会板橋区支部。実施運営に板橋区支部役員が当たりました。

講師には、中央大学総合政策学部 黒川 剛教授(元オーストリア大使)を迎え、「外交と音楽」



講演をする黒川教授

の演題で正味九〇分間にわたり、楽しく有意義な講演に一般人場者五十名を含む総員一二七名の聴衆は、しばし酔いしれました。

定時総会に七十七名が出席

文化講演会の後、小休止を経た同会場で、午後五時から支部定時総会が開かれました。



恒例の「惜別の歌」を斉唱

母校・中央大学から三宅常任理

事、学員会本部から長田副会長の他、講演を終えた黒川教授を来賓に総勢七十七名の会員が出席し、池田副支部長の司会で開会。

物故会員への黙祷を捧げた後、小日向支部長の挨拶を経て、議事に入りしました。

小日向議長の手際の手よい進行で六議案が原案どおり承認可決され記念撮影を終えてから、懇親会に移りました。(決議事項は四頁以降を参照下さい。)

「来賓を交えて
和やかに懇親」

懇親会は、大野新事務局長の司会でスタート。

小野田顧問の音頭で乾杯。暫く歓談の後、祝電の披露と恒例の初参加した新入会員の紹介があり、女性会員の自己紹介には、ひときわ盛大な拍手が送られました。

名曲・「皇帝円舞曲」が流れる立食の懇親会場内には、講演を終えた黒川教授、大学の三宅常任理事に学員会・長田副会長の三人の来賓を交え、例年にない賑いを見せました。

中でも好評だった講演会の講師・黒川教授の回りには、人の輪ができ歓談に花が咲きました。

閑憂して二時間を過ぎ、宴たけなわになったところで全員が肩を組み、岡田(常任幹事)リーダーの指揮で恒例となった「校歌」と「惜別の歌」を合唱して、散会しました。(池田記)

秋の旅行日程等決まる

支部恒例の行事となった秋の旅行の日程等が、次のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

日時 11月18日(土)～19日

旅行先 上州・伊香保、榛名

*詳細は同封の案内書を参照して下さい。

集合場所

*午前八時十五分までに産文ホール前に集合して下さい。

参加費 二八、〇〇〇円

世話役 三宅・近藤

申込み 九月三十日

同封の「申込み書」で
三宅宛郵便又はFAX。

■ 母校のニュース ■



中大野球部大健闘



■ 会費納入のお願い

市ヶ谷キャンパス開校

□□□

駿河台の他に、都心の拠点として昨年、アジア経済研究所跡地を四十五億円で取得し、今年三月末に改修工事を終えた市ヶ谷キャンパスが、四月から開校した。

建物は延べ四五〇〇坪、土地は一二〇〇坪で、現在は①社会人を中心とする大学院②各種国家試験の研究室③研究開発機構等



市ヶ谷校舎の偉容

将来は国の制度に対応して、ロースクール、アカウンティング・スクールの特化大学院の本拠として、大学発展の重要な役割を担うことになる。

(栗原記)

シドニー五輪へ

母校中大から

十四選手を送り出す

□

今年九月にオーストラリアで開催されるオリンピックに、母校関係から水泳六、陸上二、野球一、フェンシング一、ボート三、自転車競技一（七月末現在）で、多数の選手が出場する。

メダルの期待がかかるのは、女子水泳の田中、中村、源の中大三人娘。中でも平泳ぎの田中雅美選手が最有力。

また野球では、主将の阿部慎之助選手、マラソンの佐藤信之選手に期待がかかる。

(栗原記)



母校を応援するO.B

新入会員のご紹介

(記載順不同)

▼足立 国輔 29法

板橋区成増四ノ四ノ三九ノ四

電話・三九三八一〇八八八

▼遠藤 一義 46法

板橋区氷川町四七ノ九ノ三〇二

電話・三九六二二二二二六

弁護士

三三四二一六一八一

▼須藤 亘 54理

板橋区大谷口一ノ三六ノ九

電話・三九五六一八六〇〇

中学校教諭

定時総会ニュース

第12回・定時総会は、去る六月二十四日(土)午後五時から会員七十七名が出席して、板橋区立文化会館の四階大会議室で開催されました。

議事の内容を、次のとおり報告いたします。

第一号議案

平成十一年度・事業報告

(片桐事務局長から報告)

*

4月10日 支部観桜会(実施済)

旧安田庭園・割烹「吉業」33

4月17日 定例囲碁会 8〜16名

西池囲碁サロン、以後毎月

4月24日 練馬支部と交流囲碁会

向山庭園 15名

5月8日 支部会計監査

久米会計事務所 5名

5月14日 平成十一年度・第一回

幹事会 産文ホール 43名

6月18日 平成十一年度・第一回

常任幹事会 文化シヤタ18名

6月26日 平成十一年度定時総会

区立文化会館 69名

6月23日〜7月3日

パソコン教室開く

東亜興業(株)(小豆沢)延30名

7月17日 事務局打ち合わせ

常盤台マルコ 5名

8月15日 会報『白門板橋』

12号発行、発送

8月20日 第1回カラオケの集い

大山・フジハナ 15名

9月3日 ゴルフ会コンパ

森林公園ゴルフクラブ 18名

9月11日 都区内支部連絡会

江戸川区民ホール 3名

9月28日 事務局打ち合わせ

成増社会教育会館 8名

10月7日 平成十一年度・第一回

常任幹事会 産文ホール20名

10月15日 第2回カラオケの集い

大山・フジハナ 15名

10月25日 会員増強入会勧誘状

発送 成増社会教育会館20名

新会員六十名

11月19日 平成十一年度・第二回

常任幹事会兼第一回正副プロ

ック長会議 成増アクトH29

11月27日〜28日 旅行会

(常陸・下総を訪ねる旅) 28名

12月11日 白門囲碁大会

中大駿河台記念館 10名

1月17日 正副支部長会

新年会・総会準備打合せ

常盤台シロー 5名

1月22日 新年会兼新入会員歓迎

会 区立文化会館 79名

2月23日 正副支部長会

総会準備 8名

3月13日 規約改正委員会

中大駿河台記念館 4名

3月15日 会報『白門板橋』

13号発行、発送

常盤台町会事務所 10名

3月19日 故高木総長大学葬

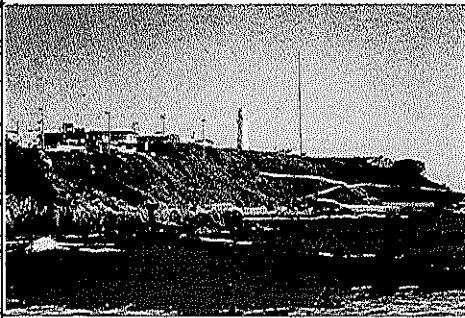
支部長参列 1名

3月29日 正副支部長会

総会準備 9名

常盤台町会事務所

以上



'99年 秋の旅行(常陸・下総)

囲碁部が練馬支部を連破

● ○

囲碁部では、昨年から練馬支部との親善試合を定期的に行なっているが、今年も去る四月二十二日(土)に成増アクトホールを会場に一度目の交流試合をした。

対戦成績は次の通りでした。

*

第一局 ○板橋9対4練馬●

第二局 ●板橋5対8練馬○

第三局 ○板橋7対6練馬●

総合 ○板橋21対18練馬●



対局を終えて両チーム記念撮影

第二号議案
平成十一年度・収支決算報告
並びに会計監査報告

益田会計幹事から報告があった後、栗原(泰) 監事から監査報告があり、場内に諮ったところ異議なく賛成多数で、承認可決されました。

平成11年度・収支決算報告書
(自平成11年4月1日～至平成12年3月31日) (単位:円)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	増減額	科目	予算額	決算額	増減額
年会費	660,000	612,000	A 48,000	総会費	660,000	453,724	A 206,276
雑会費	550,000	533,000	A 17,000	総行会費	840,000	903,477	63,477
銀行会費	840,000	860,500	20,500	総務会費	240,000	276,629	36,629
総務会費	240,000	277,000	37,000	新年会費	495,000	430,315	A 64,685
新年会費	430,000	565,000	135,000	新任幹事会費	50,000	134,220	84,220
常任幹事会費	50,000	133,500	83,500	幹事会費	150,000	83,060	A 66,940
幹事会費	160,000	85,000	A 75,000	会報制作費	200,000	219,835	19,835
寄付金	15,000	300,000	285,000	印刷費	50,000	4,200	A 45,800
受取利息	1,000	317	A 683	通信費	160,000	76,760	A 83,240
前年度繰越金	1,536,331	1,536,331	0	会議費	50,000	48,429	A 1,571
				事務所費	60,000	0	A 60,000
				事務用品費	30,000	0	A 30,000
				旅行交際費	100,000	71,484	A 28,516
				同好会補助費	70,000	42,450	A 27,550
				手取料	10,470	10,470	0
				会員増進費	260,040	260,040	0
				雑費	11,000	0	A 11,000
				予備費	1,491,331	1,491,331	0
				次年度繰越金	1,883,765	302,434	A 1,581,331
計	4,552,331	4,904,648	352,317	計	4,552,331	4,904,648	352,317

貸借対照表
(平成12年3月31日現在) (単位:円)

資産の部			負債・剰余金の部		
科目	内訳	金額	科目	内訳	金額
現金	手元有高	0	前受金	新入会員38	114,000
郵便振替口座	3-568929	1,719,640	未払費用	常盤台町会	3,500
郵便貯金	69516001	133,325	繰越剰余金		1,536,331
郵便定額貯金	3728043	72,000			
郵便定額貯金	3728043	23,000			
前渡金	6/24 総会会場費	53,300	当期剰余金		347,434
計		2,001,265	計		2,001,265

以上のとおり決算報告いたします。
平成12年6月24日

支部長 小日向 孝介◎
会計幹事 久米 英雄◎
同 益田 永治◎

以上、支部決算につき監査の結果、適正にかつ適法に表示していると認めた。
平成12年4月12日

監事 栗原 泰房◎
同 岩澤 忠弘◎
同 坂井 健二◎

加賀公園で見学会

今年の観桜会は、去る四月一日(土)板橋区立加賀公園を会場に、35名が参加して楽しいひとときを過ごしました。
正午に旧中山道に架かる「板橋」の袂に集合し、石神井川に沿って下流の金沢橋まで五分咲



き桜を観ながら遊歩し、場所取り組と会場での加賀公園で合流しました。今年は地元・板橋プロックのお世話で、弁当・焼き鳥・お大愛のお世話になりました。厚くお礼申し上げます。(池田記)

でん等が準備され、手作り風の料理に舌鼓を打ちながら、酒屋もぐんぐんピッチがあがり、宴たけなわには、「花笠音頭」を踊る一幕もあり、楽しい観桜会でした。

HOME・COMINGDAY
10月8日

平成12年度・予算(案)
(自平成12年4月1日～至平成13年3月31日) (単位:円)

取入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
年会費	720,000	3,000×240名	總會費	560,000	
總會費	560,000	7,000×80名	旅行会費	840,000	
旅行会費	840,000	28,000×30名	親睦会費	150,000	
親睦会費	150,000	5,000×30名	新年会費	560,000	
新年会費	560,000	7,000×80名	常任幹事会費	100,000	
常任幹事会費	100,000	2,000×25名×2回	幹事会費	80,000	
幹事会費	80,000	2,000×40名×1回	会報制作費	230,000	『白門板橋』年2回発行
寄付金	0		印刷費	50,000	
受取利息	1,000		通信費	100,000	
前年度繰越金	1,833,765		会議費	60,000	会議・公報等送込含む
			事務所費	60,000	
			事務用品費	30,000	
			慶賀交際費	100,000	3支部 5万円、5,000×10名 庶務部、カラオケ、ゴルフ 他各1万円
			同好会費	50,000	
			補助料	10,000	
			雑費	20,000	
			手廻子	1,834,765	
計	4,894,765		計	4,894,765	

第三号議案

平成十二年度事業計画(案)

片桐事務局長から次のとおり説明があり、賛成多数で可決されました。

一、学術講演会の開催

二、親睦会の開催

・観桜会(四月一日実施済)

・旅行会(秋)

・新年会

三、同好会活動の促進

・囲碁同好会

・ゴルフ同好会

・カラオケ同好会

・パソコン同好会

四、広報活動

・会報『白門板橋』年二回発行

第四号議案

平成十二年度・予算(案)

益田会計幹事から別表のとおり説明があり、

賛成多数で可決されました

第五号議案

支部規約の一部改正について

規約改正委員長・栗原常任幹事から、配布資料にそって説明があり、賛成多数で可決されました。

改正要旨は、次のとおりです。

(条文の詳細は都合で省略)

一、幹事長及び副幹事長を新設

第八条第二項、第四項

第九条第二項、第四項

第十条第三項、第四項

第十一条第三項を改正

第六号議案

役員改選について

本總會終結のときをもって、全役員が任期満了となるため、選任方法について議長が場内に諮ったところ、支部長統投の動議が出され、賛成多数で可決されたため、

幹事長以下の役員選任方法が支部長に一任され、別紙で配布された役員候補者名簿について水野副支部長から説明があり、次のとおり新役員が承認可決されました。

敬称略・卒年順記載
☆印は新任を示します。

*

顧問 田永 嘉彦(再)

同 濱 巖(再)

同 石塚 輝雄(再)

同 小野田 元(再)

同 秋元 平馬(再)

同 牧 吉雄(再)

同 武内 崇泰(再)

同 栗山 秀男(再)

同 片桐 久雄(再)

同 栗原 泰房(再)

同 坂井 健二(再)

同 森 英正

三、附則の改正

第六条第一項の改正に伴い

三年間継続して滞納の判定

をするための基準日を、

平成十二年三月三十一日に

定めた。

支部長に

小日向孝介氏三選される

支部長 小日向孝介(再)

初代幹事長に、池田亘利(前副支部長)氏が就任し、副支部長には新任の四氏が就任して五名体制となりました。

ブロック長の七氏が昇格

常任幹事

関 正夫(再)

清水 治男(再)

関上 裕次(再)

小野沢隆一(再)

田中 泰治

高橋 淳(再)

千葉喜代則(再)

中路 義雄

猪橋 進一

佐藤 道則

宮村 徹

大森 守

垣内 茂

栗原 三郎(再)

三田 喜一

岡田 利彦(再)

中三川 孝幸(再)

杉本 和久(再)

小宮 仁(再)

原 素之(再)

大庭 登(再)

川上 久雄

佐藤 幹夫(再)

矢吹 尚武(再)

本橋 順(再)

若井 富男(再)

幹事

竹田 和夫(再)

原田 幸雄

蒲生 年公(再)

笠原 優

大泉 喜義(再)

佐藤 義(再)

浅香 善晃

飯島 健市(再)

須田 幸男(再)

中山 修(再)

早坂 光平

内田 繁夫(再)

古沢 政和(再)

豊田 哲夫(再)

徳永 勝彦(再)

小林 武男(再)

近藤 正

若木 康夫

竹中 義成(再)

碓谷 幸照

榎本 都行(再)

川崎 力男

山本 仁二

谷本 貞雄(再)

池内 稚利

副支部長の担当が決まる

去る七月十四日(金)に開かれた常任幹事会で、改選された副支部長の役割担当が次のとおり決定しました。(敬称略)

副支部長 水野 公一

総務担当

同 巨勢 典子

事業担当

同 岩澤 忠弘

財務担当

同 平山 惟美

広報担当

同 川口 正

事業担当

ホーム・カミングデーに出席しましょう!

*

ホーム・カミングデーが近づいてきました。

今年はモノレールも全線開通し交通の便もよくなりましたから、ぜひ参加しましょう。(事務局)

新任副支部長の巨勢典子氏と、

事務局次長の三宅正代氏は、支部

女性会員として初の人事で、活躍

が期待されます。

逢坂文学ひろい読み

「十字路に立つ女」

*

ご存じ中大OB作家・逢坂 剛
が、直木賞を受賞してから二年後
の平成元年に著した作品。

同窓の作家には失礼な言い方だ
が、所詮大衆(推理)小説だと思
うから身銭を切つてまで読んだこ
とがなかった。

二十年ぶり、旅券の申請で有業
町の交通会館へ行った帰り、何気
なく地下の古書店に立ち寄つた際
に、ニコライ堂の写真がカバーに
なる本書を立ち読みして、買い求
めた。

〜中略

それがきっかけで、わたしは遅
ればせながら正式に、クラシック
・ギターを習ってみようと思ひ立
った。お茶の水駅から三分ほどの
ところにある、ここ倉橋楽器店の
ギター教室で週一回、彩子の個人
レッスンを受け始めてから今日で

ちようど七週間になる。そしてい
まだに音階練習に取り組んでいる
始末だ。

「五時半にみずえさんと会うんで
すけど、よろしかったらご一緒し
ませんか」

教室を出るとき彩子が言った。
ギター教師の厳しさは既に消え、
二十四歳の娘の口調に戻っていた
「何か話があるんじゃないの」
「別に。…ただお茶を飲むだけで
いるみたい。男の人の刺激が必要
だわ」〜以下略

さすがに推理小説を得意とする
だけに、テンポのいい筆さばきで



逢坂剛
十字路に立

ある。加えて、駿河台に学んだ者
らしく、作中に九段下の古書店、
ギター教室、山の上ホテル、錦華
公園、神保町ずららん通り等の地
名に、フィクションとは言え登場
人物も××大学の助教授、事務職
員に、お茶の水警察署の刑事まで
出てくるから、自然に親しみが湧
く。他にヤクザ、地上げ屋、古書
店主、弁護士、麻薬患者、興信所
に精神科医と登場人物の職業も多
種多彩で、面白い。

十字路に立たされた登場人物の
女性の運命が、どうなるのか？最
後の最後まで読者をハラハラさせ
るのは、さしずめ和製「シドニー
・シエルダン」を思わせる。

バブル経済を演出する地上げ屋
に、その手先のヤクザたちが人口
透析を続ける不幸な娘をもつ善良
な古書店主をイジメるくだりは、
法律を学んだ作家の正義感の裏返
しに見えてくるから、実に不思議
である。

因みに逢坂 剛氏は、
昭和十八年の東京生まれ。
昭和四十一年に中央大学法学部
を卒業している。

(平山記)

大相撲七月場所

中出入力士の星取表

〇〇〇

出島関

二桁の
勝ち星

若枚関健闘 再十両へ！

*

▽出島(武蔵川)

本名・出島武春 平8卒
東大関 10勝5敗



▽玉春日(片男波)

本名・松本良一 平6卒
東小結 2勝13敗

▽田中(友綱)

本名・田中康弘 平10卒
幕下東4枚目 2勝5敗

▽若枚(松ヶ根)

本名・中尾浩規 平7卒
幕下西5枚目 5勝2敗

*

◎七月場所の出島、若枚は夫々
勝ち越したものの、玉春日と
田中は苦しい場所だった。

(池田記)

■はじめに

江戸時代、幕府は参勤交代のため、に街道整備をし、中山道と関連して川越街道（正式名称は、河越道中）が区内に整備された。

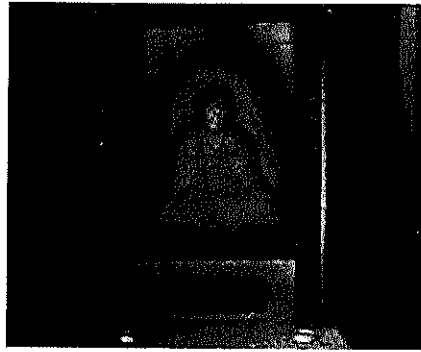
地名の由来…⑥

「大谷口」の巻

□であると言われる。

■意外な由来

大谷口は、小山、根ノ上と台地が連なり、その下を石神井川が湾曲して流れ、扇形に開かれた広く大きな谷の口になっているからと言われているから、地名の由来は実に意外なものである。



しろかき地蔵

石神井川を望む舌状台地にある氷川神社、西光寺からの眺望は素晴らしいと言おう。

大谷口は中世からの地名で、「小田原衆所頭役帳」に「大谷口板橋分」と書かれており、また「新編武蔵風土記稿」の上板橋村の項には、毛呂（茂呂）、大谷口、エ

この二つの街道に、板橋宿と上板橋宿の二つの宿駅が設けられるなど、板橋区は歴史の深い滋味多い地域である。そして、上板橋地区の中で、最も古い地名が「大谷

小山、向原、江古田、小竹、根ノ

上、上ノ根、小山、栗原、舟山の十一の小名が掲げられている。

また、「風土記稿」の著者は、

治承四（一一八〇）年、源頼朝が板橋に到着したという「源平盛衰記」や「義経記」の記事にある板橋を、現在の板橋町地区でなく上板橋地区と考えて記述している。

■農耕伝説が残る大谷口

中世の頃の板橋地区の中心は、上板橋地区であったとみるのが正しいようである。

大谷口二丁目八番七号に真言宗豊山派の西光寺という寺がある。承応年間（一六五〇年代）の創建といわれる同寺に、「しろかき地蔵」という地蔵がある。曲線で波状に彫られた高さ四七センチの石像で、苗代などに水を入れて土をかきならす作業を手伝ったという農耕伝説が残されている。この地蔵は、昭和六二年に板橋区の登録有形民族文化財に認定された。

□

（本稿の取材に際し、清水治男常任幹事他の諸先輩のご協力をいただきました。お礼申し上げます）

中三川記



編集後記

○…猛暑つづきの中で編集に汗を流し、何とか八月発行にこぎ着けました。印刷屋さんも夏季休暇があり、納期調整に大わらわ。

○…考えて見れば、年一回の発行で、三月と八月発行より三月と九月発行の方がキリがよく、作業の平準化が図れるというもので、第一能率が違う。

○…シリーズ「地名の由来」では、今号でも板橋史談会の先輩諸氏にご協力いただき、誠にありがとうございました。会報づくりにより多くの会員がかかわることで、誌面に新風が吹き込まれれば幸いに思います。

○…支部役員は改選がありました。が、われわれ広報委員会は従来と同じメンバーで会報の編集に当たります。大いに飲み語りあって、マンネリにならないよう気を配りたいと思います。

（平山記）